公益財団法人 さかきテクノセンター

理事長 依田 穂積

坂城町の工業は、戦中の疎開工場で技術を学び、「坂城人気質」と呼ばれる持ち前の旺盛な起業家魂により、発展の礎が築かれたと言われております。

創業から70年余。世代交代、事業継承と言う課題に立ち向かいながら、モノづくりを極め常に切磋琢磨する挑戦に、「ファミリービジネス」の強みがあると思います。

多様な顧客ニーズや市場のグローバル化など、常に変化する社会経済情勢にあって、今改めて確かな技術力を確認し、足元を固め更なる発展に向けて、行政・関係機関との連携強化を図りながら、長野県唯一のテクノセンターとしてモノづくり支援に努めてまいります。

人材育成支援事業
産学官から専門家を招き経営・技術等専門知識の習得研修の実施

試験・計測事業
試験・計測技術の向上のための計測技術研修、各種試験・測定機器の設置。依頼業務・企業の機器共同利用事業の実施

公益財団法人
さかきテクノセンター

技術高度化支援事業
企業の研究開発・共同研究・技術相談に応じ、技術支援を実施

情報の収集・提供事業
企業が必要とする情報収集のため、県内外の支援機関、関係企業と連携・交流事業の推進

企業交流事業
企業の活性化のため、企業間交流、産学官連携事業を推進

SAKAKI TECHNO CENTER

独特な辛みを持った「ねずみ大根」はおしぼりうどんとして有名です。

坂城町オリジナルローズ「さかきの輝き」

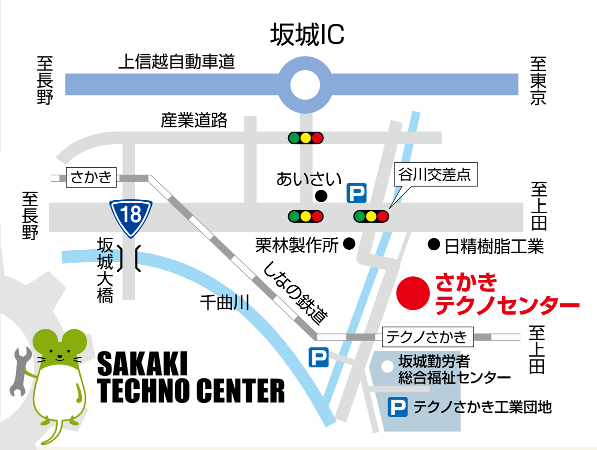
坂城町は、長野県の北東部に位置し四方を標高1,000m級の山々に囲まれた盆地状の形状で、町の中央部を千曲川が南北に流れ東西に扇状地を形成している町です。

四季の変化がはっきりし、年間の降水量は900mm内外と降水量が少ない地域で、晴れの日が多い気候を活かした「ねずみ大根」をはじめ、りんごやぶどうといった果樹や、ばら、カーネーションなどの花卉栽培も行われています。

中でも坂城町の主要産業は工業で、高い技術力を持つ中小企業が集積し、長野県下でもトップレベルの工業力を誇っています。

このように坂城町は、工業を中核として農業・観光が融合する特色ある町なのです。

ねずこん
坂城町マスコットキャラクター



電車でのアクセス

- 東京駅 —北陸新幹線 約1時間20分→ 上田駅 —しなの鉄道 約15分→ テクノさかき駅 —徒歩 約3分→ さかきテクノセンター
- 金沢駅 —北陸新幹線 約1時間30分→ 上田駅
- 名古屋駅 —中央本線(特急しなの) 約2時間50分→ 篠ノ井駅 —しなの鉄道 約20分→ テクノさかき駅

お車でのアクセス

- 東京 —関越自動車道 約1時間→ 藤岡JCT —上信越自動車道 約1時間10分→ 坂城IC —約10分→ さかきテクノセンター
- 東京 —中央自動車道 約2時間20分→ 岡谷JCT —長野自動車道 上信越自動車道 約1時間→ 坂城IC
- 大阪 名古屋方面 —中央自動車道 約2時間20分→ 岡谷JCT
- 新潟 —北陸自動車道 約1時間30分→ 上越JCT —上信越自動車道 約1時間30分→ 坂城IC
- 金沢 —北陸自動車道 約2時間→ 上越JCT

公益財団法人 さかきテクノセンター
〒389-0603 長野県埴科郡坂城町大字南条4861-35
TEL.0268-82-0001 FAX.0268-82-0002
http://www.sakaki-tc.or.jp/
E-mail: techno@sakaki-tc.or.jp
Find us on Facebook https://www.facebook.com/sakakitc/

世界の「さかき」
モノづくりにこだわるコア・ステーション

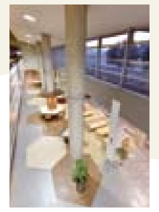
設立趣旨

坂城町は、国内でも有数の工業集積地として全国的にも注目を集め、モノづくりは地域経済発展の原動力となってきました。

しかし、近年の技術や情報の高度化、国際化、労働力不足、そして高齢化社会の到来といった、様々な社会変化が地域産業の発展にも影響を及ぼすようになってきました。

このような時代の変化に対応し更に発展していくためには、創造的人材の育成、高度先端技術の研究開発、新分野開拓などを積極的に展開する必要があります。

「さかきテクノセンター」は、試験・計測、技術の高度化、人材育成、企業間交流、情報提供といった5つのミッションを行う中核施設として建設されました。



公益財団法人さかきテクノセンター沿革

1984年 1月／「坂城町機械工業産地診断」で「テクノセンター」の建設を提言。
1991年12月／町内製造業関係者の賛同を得て「さかきテクノセンター建設推進協議会」を発足。
1992年 9月／財団法人さかきテクノセンターを設立。
1992年11月／テクノセンター建設に着手。
1993年10月／さかきテクノセンター開館。
1994年10月／さかきテクノ交流サミット開催。
1995年 6月／さかき技術交流研究会発足。
2004年 9月／SAKAKI金型・成形研究会発足。
2005年10月／2005さかきテクノプロジェクト交流サミット開催。
2006年 5月／町合併50周年記念タイムカプセル製作・除幕。
2012年 4月／公益財団法人さかきテクノセンターへ移行。
2014年 4月／開館20周年記念式典を開催。
2014年10月／さかきものづくり展開催。
2015年 4月／さかきテクノセンター見直し検討委員会発足。
2017年 3月／平成28年補正予算　地方創生加速化交付金による改修工事着手。
2017年10月／2017さかきモノづくり展開催。
2018年 4月／坂城しごと創生イノベーションセンターとして、リニューアルオープン。

施設概要

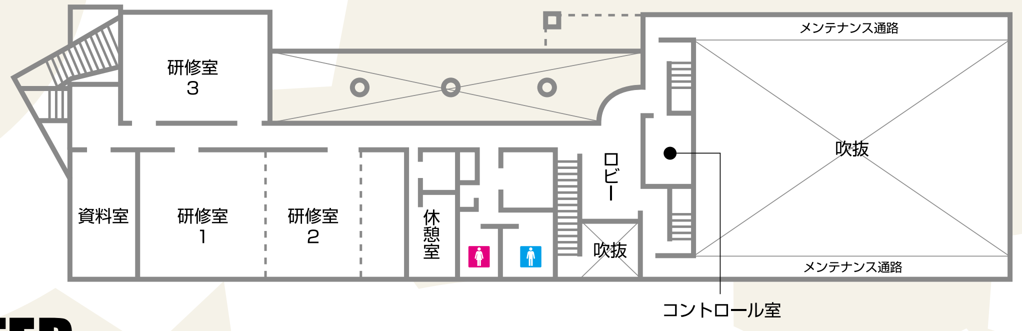
敷地面積■4,164m²

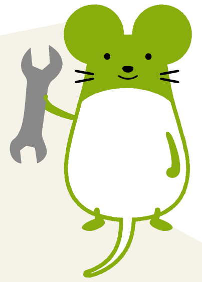
建築概要■鉄筋コンクリート2階建
延床面積　1,864.12m²

主な施設■技術実習室／試験検査室
コワーキングルーム／交流サロン
エントランス・ロビー
大研修室／研修室／事務室等

事 業 費■9億円
用地費　1億4,000万円
建設費　7億6,000万円
（設計・管理、外構備品購入を含む）

設　　計■さかきテクノセンター建設設計委員会
建物設計部会　部会長　岡村勝司



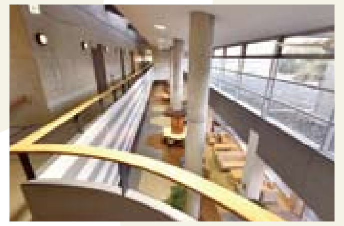


SAKAKI
TECHNO CENTER

エントランス・ロビー

コワーキングルーム

企業交流事業



試験・計測事業

人材育成支援事業

試験・計測機器

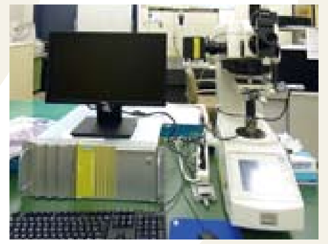
精密万能試験機（引張り、圧縮）
（株）島津製作所製
AG-100KNG MODEL:2
鉄鋼や樹脂の機械的特性の評価や、実物試験による強度の評価を行う装置です。

三次元測定機
（株）東京精密製
XYZAX FUSION NEX 9/6/6
被測定物の三次元データを測定する装置です。

輪郭形状測定機
（株）ミツトヨ製
コントレーサ CV-524
スタイラスと呼ばれる触針を用いて対象物の表面をなぞることで、その輪郭形状を測定、記録する装置です。

3Dプリンター
FORTUS 360MC-S
三次元CAD
SolidWorks 2014
樹脂溶融積層型のプリンター装置です。現在、ABS及びPCの2種類のライセンスを取得しており、使用可能です。

蛍光X線分析装置
（株）島津製作所製　EDX-720
試料にX線を照射すると、試料に含まれる原子から固有のX線が発生し、試料外に放出されます。このX線は蛍光X線と呼ばれ、各元素特有の波長（エネルギー）をもっています。したがって、このX線の波長を調べ定性分析を行います。



微小硬さ試験機
（株）ミツトヨ製　HM-221
被測定物に、四角すいのダイヤモンドを押し付け、出来たくぼみの対角線から求めた面積で、その材料の硬さを表す試験機です。HVで表します。

表面粗さ測定機
（株）東京精密製
サーフコム 1400D-13
測定表面のツルツル度やザラザラ度を数値化する機械です。JIS規格の選択により解析内容は異なります。

真円度測定機
（株）東京精密製
RONDCOM NEX200 DX-11
円筒形状の測定機で、真円度（まん丸）や同心度（基準円の中心に対する測定円の中心のずれ）などを測定する装置です。

ロックウェル硬さ試験機
（株）ミツトヨ製　ATK-F3000
圧子を用いて基準荷重を加えて押し、次に試験荷重で押した後、再び基準加重に戻した時、前後2回の基準荷重におけるくぼみ深さの差からロックウェル硬さを求める試験機です。

デジタルマイクロスコープ
（株）キーエンス製　VHX6000
平面（X,Y）や高さ（Z）方向の形状を画像や寸法表示できる顕微鏡です。最大2000倍まで拡大表示可能です。